

● 日本及びその周辺での主な地震活動

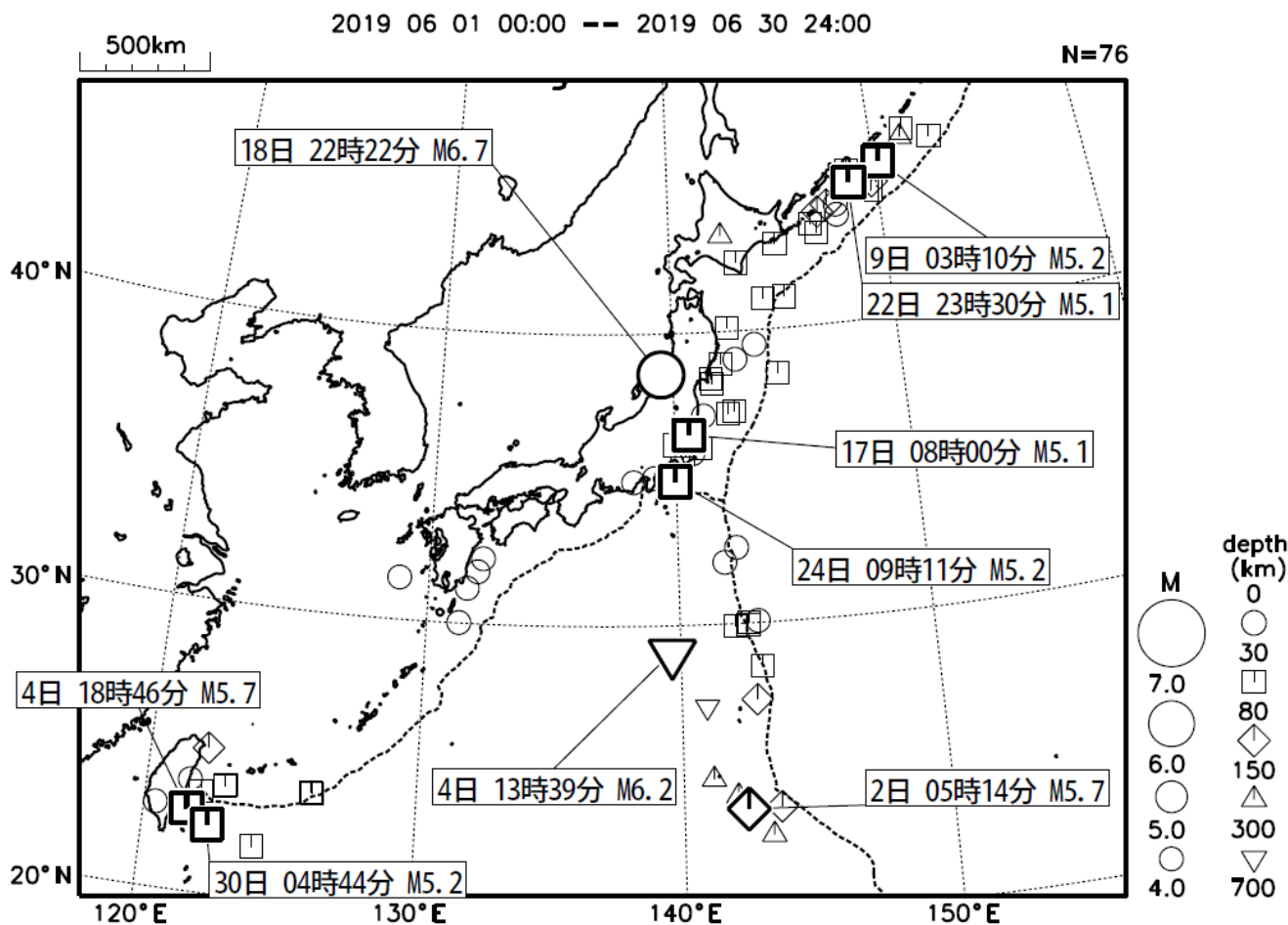


図1 令和元年6月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

6月18日22時22分に山形県沖の深さ14kmでM6.7の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報(警報)、津波注意報を発表した。この地震により、新潟県村上市で震度6強、山形県鶴岡市で震度6弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度5強～1を観測した。また、山形県庄内で長周期地震動階級3を観測したほか、東北地方、新潟県と関東地方の一部で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、負傷者41人、住家半壊33棟、一部破損755棟の被害が生じた(7月1日11時00分現在、総務省消防庁による)。また、この地震により、山形県の鶴岡市鼠ヶ関で11cm、秋田県の秋田、新潟県の新潟、石川県の輪島港でそれぞれ8cmの津波を観測するなど、秋田県、山形県、新潟県、石川県で津波を観測した。

令和元年(2019年)6月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は7回(5月は6回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は76回(5月は78回)であった(図1)。6月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。6月中に震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震は1回であった(5月は震度5弱以上を観測した地震は2回であり、また、津波を観測した地震はなかった)。

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和元年6月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	6 1 7 58	千葉県北東部	4.7	4.6	・ ・ S ・	4：千葉県 長南町長南*	4、9
2	6 4 13 39	鳥島近海	6.2	6.4	M ・ S ・	4：東京都 小笠原村母島	4、17
3	6 17 8 0	茨城県北部	5.1	4.9	・ ・ S ・	4：福島県 白河町表郷* 矢祭町東館* 茨城県 水戸市千波町* 水戸市内原町* 栃木県 大田原市湯津上* 那須烏山市中央 など3県22地点	5、10
4	6 18 22 22	山形県沖	6.7	6.5	M H S T	6強：新潟県 村上市府屋* 6弱：山形県 鶴岡市温海川 5強：山形県 鶴岡市温海* 鶴岡市道田町* 津波注意報 を公表 長周期地震動階級3 を観測 緊急地震速報（警報） を公表 被害 ：負傷者41人など（7月1日現在）	82～105
5	6 19 0 57	新潟県下越沖	4.2	—	・ ・ S ・	4：新潟県 村上市府屋*（注7）	84、85、 93
6	6 24 9 11	千葉県南東沖	5.2	5.3	・ ・ S ・	4：千葉県 館山市長須賀 館山市北条* 東京都 東京都千代田区大手町 神奈川県 川崎市川崎区宮前町* 川崎市川崎区千鳥町* など3県9地点	5、11
7	6 24 19 22	伊豆半島東方沖	4.1	—	・ ・ S ・	4：静岡県 熱海市網代 緊急地震速報（警報） を公表	5、12

（注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

（注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

（注4）Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。

（注5）MHS Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注6）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注7）この地震は2019年6月18日の山形県沖の地震の余震である。

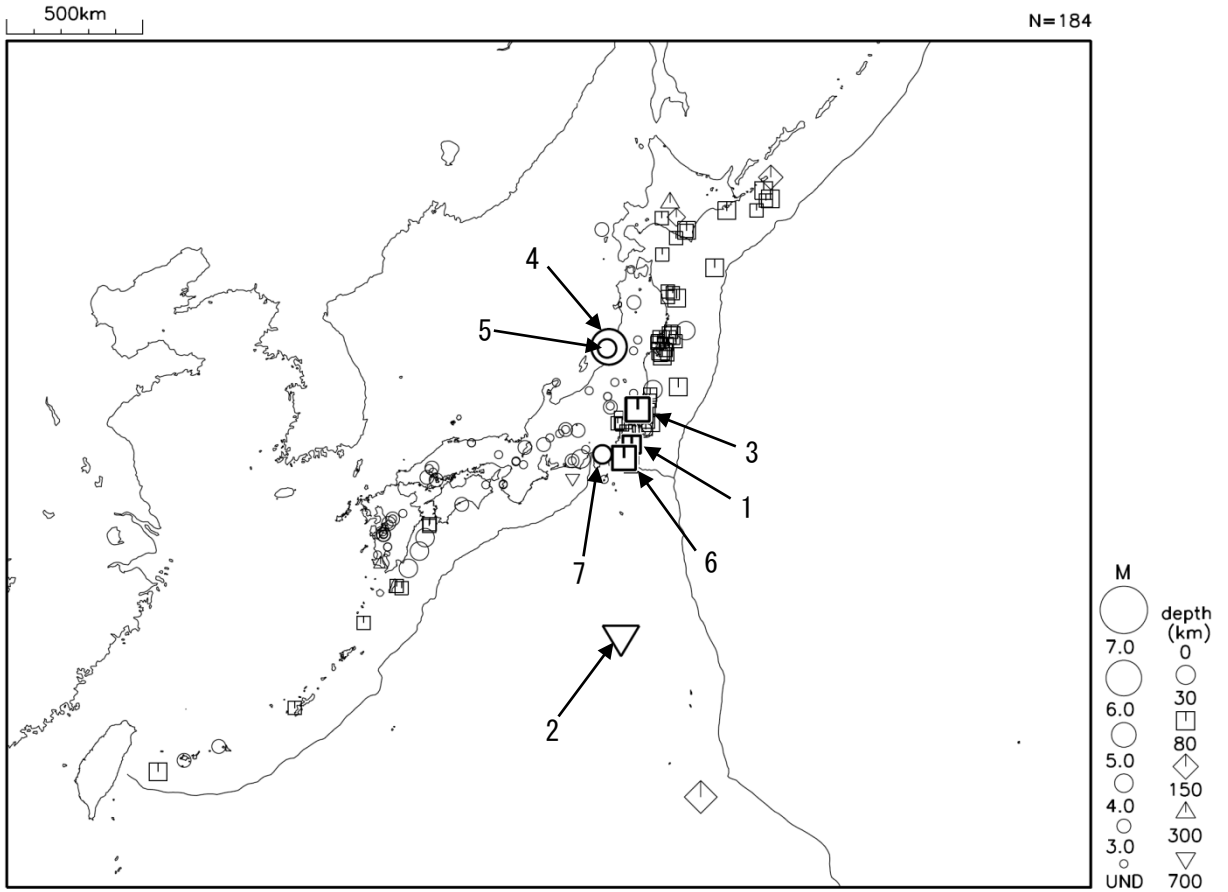


図2 令和元年6月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

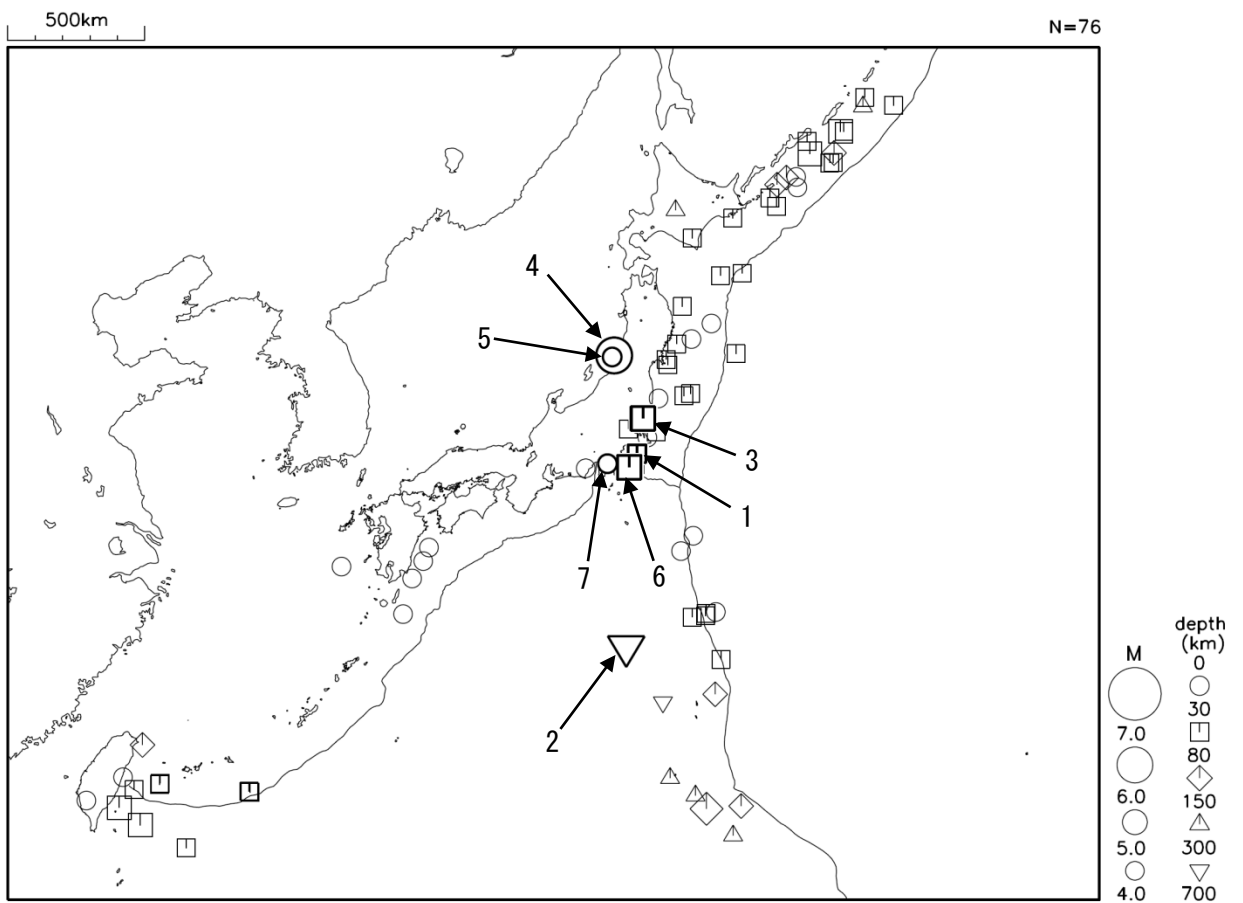


図3 令和元年6月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）